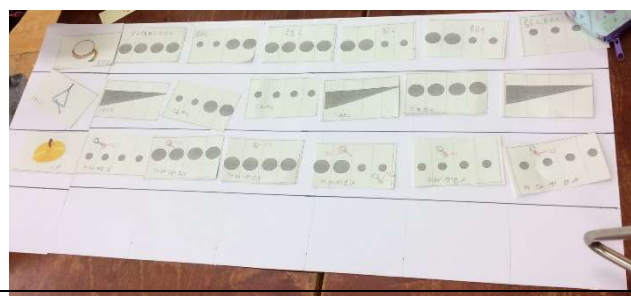
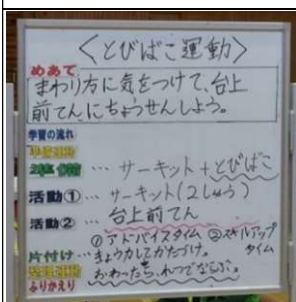


令和6年10月23日（水）校内研究 授業と協議

3年生 体育 4年生 音楽（若草学級担任とのチームティーチング）



【授業の様子】

中学団では、「通常学級・特別支援学級の垣根を越えて、互いに仲間意識をもって関わることのできる児童」の育成を目指し、通常学級・特別支援学級の垣根を超えた交流及び共同学習を実践しました。

3年生は、担任による体育「跳び箱運動」の授業を行いました。チームごとに協力して、場の準備や片付けを行いました。個人の課題を見つけ、自分に合った練習の場を選び、技に挑戦しました。また、壁の掲示や手元のカードを参考に、具体的な技のポイントを意識して、友達と教え合ったり、励まし合ったりして高め合う姿が見られました。

4年生は、音楽専科による音楽「打楽器の音楽」の授業を行いました。中学団の教員によるモデル動画を作成し、話し合いの仕方やゴールを明確にすることで、全員が活動の見通しをもてるようにしました。グループで協力して音楽づくりを楽しもうとする姿が見られました。

【協議会の様子】

今年度より低・中・高学年（若草学級の担任含む）に分かれて学団を作り、それぞれの学団に適した研究授業や協議会の方式を提案するようにしました。中学団からは、以下の提案がありました。

学団提案

学校担任制を実現するために、通常学級・特別支援学級の垣根を超えた交流及び共同学習の可能性を模索したい。

目指す児童像

○通常学級・特別支援学級の垣根を越えて、互いに仲間意識をもって関わることのできる児童

上記の提案をもとに、協議前にはオクリンクプラスのやり方を共有し、協議会を進めました。今回の協議会では、①新しいアプリである「オクリンクプラス」を活用することで、オンライン上でKJ法的な協議を行ったこと②個別の意見の共有③2グループに分けた話し合い(各学年のグループ)を行ったことによる協議の深まりが成果としてあげられます。次の協議会でも取り組みたい協議方法でした。